

この人に聞く

カネマサ流通グループ 金澤向志代表

青果の産地開発、卸販売、カット野菜、物流までのサプライチェーンを構築するカネマサ流通グループ（2023年度売上高384億円）は、今年7月に設立60周年を迎えた。グループを統括するカネマサ流通ホールディングス（大阪市東住吉区）の金澤向志社長は、3代目のグループ代表。創業者、先代の「チャレンジ精神」「感謝の心」を引き継ぎつつ、時代の変化を見据えた事業を展開。来年は、埼玉県に設置するセンターの増設、ECサイトのグランドオープンを予定する。同時にグループ各社の機能に磨きをかけ、生産者と生活者をつなぐ「価値ある架け橋」（ゴールデンブリッジ）の役割を担っていく。



1964年に青果仲卸（大阪市中央卸売市場の金正青果）を設立。以来、60年で事業会社5社、そして全国への販売と大きな組織に成長した。

金正青果は大阪東部市場の開設と同時に仲卸として入場し、チェーンストアとの取引を拡大。その後、顧客ニーズの多様化に伴い、市場外からの青果調達を目的にマルマサフードを設立しました。80年代にはマルマサフードでカット野菜事業

も手掛けるようになり、89年には大手ファーストフードチェーンとの取引が本格スタート。2013年には大手コンビニチェーンとの取引も始まりました。また、エリア戦略として、02年に関東、05年に中部エリアへと営業拠点を開設しています。

振り返ると、当グループは「縁」と「挑戦」で成長できたのではないかと考えます。元々は青果商で、仲卸として大阪東部市場に入場するには高い障壁があり、人のご縁によって入場を果たせた

（23～25年度）に沿って事業を進めているところ。青果の卸販売、カット、物流といったサプライチェーンの機能をさらにブラッシュアップして、価値あるゴールデンブリッジとしての役割と

客のオペレーション簡素化を商品面でサポートしていきます。それと同時に、関東エリアの供給も拡大していきたい。

さらに来春、企業向けECサイトをグランドオープンさせます。仲卸の目利きによる果物ギフト商品や、グループの調

は組織で対応していくことが不可欠で、そのしくみづくりに着手しています。また、顧客への提案、営業のサポートでは、10年以上前から、旬の食材やメニュー提案を行う

生活者に（品質面などを含めた）「感動」を届けるため、グループのサプライチェーン機能の充実に一層努めていきます。時代が変わっても生産者、お取引先などの協力が不可欠であることに変わりはありません。その点にも思いを巡らせて事業を推進していきたい

チャレンジ精神で事業展開

仲卸からスタート、設立60周年

参入したカット野菜事業は、卸事業の拡大に取組み、当初は数年にわたり赤字が続きましたが、今ではグループを支える柱のひとつに。従業員も含めた関わりのある人々への「感謝」、そして「挑戦」がグループのベース

は、卸事業の拡大に取組み、当初は数年にわたり赤字が続きましたが、今ではグループを支える柱のひとつに。従業員も含めた関わりのある人々への「感謝」、そして「挑戦」がグループのベース

は、卸事業の拡大に取組み、当初は数年にわたり赤字が続きましたが、今ではグループを支える柱のひとつに。従業員も含めた関わりのある人々への「感謝」、そして「挑戦」がグループのベース

は、卸事業の拡大に取組み、当初は数年にわたり赤字が続きましたが、今ではグループを支える柱のひとつに。従業員も含めた関わりのある人々への「感謝」、そして「挑戦」がグループのベース

は、卸事業の拡大に取組み、当初は数年にわたり赤字が続きましたが、今ではグループを支える柱のひとつに。従業員も含めた関わりのある人々への「感謝」、そして「挑戦」がグループのベース

は、卸事業の拡大に取組み、当初は数年にわたり赤字が続きましたが、今ではグループを支える柱のひとつに。従業員も含めた関わりのある人々への「感謝」、そして「挑戦」がグループのベース

今後の挑戦は？
現在は、中期経営計画

は、卸事業の拡大に取組み、当初は数年にわたり赤字が続きましたが、今ではグループを支える柱のひとつに。従業員も含めた関わりのある人々への「感謝」、そして「挑戦」がグループのベース

は、卸事業の拡大に取組み、当初は数年にわたり赤字が続きましたが、今ではグループを支える柱のひとつに。従業員も含めた関わりのある人々への「感謝」、そして「挑戦」がグループのベース

は、卸事業の拡大に取組み、当初は数年にわたり赤字が続きましたが、今ではグループを支える柱のひとつに。従業員も含めた関わりのある人々への「感謝」、そして「挑戦」がグループのベース

は、卸事業の拡大に取組み、当初は数年にわたり赤字が続きましたが、今ではグループを支える柱のひとつに。従業員も含めた関わりのある人々への「感謝」、そして「挑戦」がグループのベース

は、卸事業の拡大に取組み、当初は数年にわたり赤字が続きましたが、今ではグループを支える柱のひとつに。従業員も含めた関わりのある人々への「感謝」、そして「挑戦」がグループのベース

【プロフィール】

1984年大阪府堺市出身、2007年大阪学院大学卒業後、菱食に入社、16年同社社長に就任、19年カネマサ流通グループ代表就任。

（聞き手＝鹿島）